2月
No.４１

博愛の里だより

令和５年度
博愛の里こども園
令和６年２月19日
文責 五反田康子

← 本園のHP。
カラー版で拡大して
ご覧ください。

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ　服部嵐雪

平安時代初め頃までは、花は梅を主に指していました。梅はまだ寒さが残る中、他の花に先がけて咲く花であることから「春告草（はるつげくさ）」とも呼ばれています。春一番も吹きました。園でも卒園式に向け準備が始まっています。今日は二十四節気の「雨水」。立春も２週間を過ぎ、次第に気温が上がり始め雪から雨に変わる頃。雛飾りを飾る頃ともされています。園にも登場しましたよ。

■１日（木）、**２月のお誕生会**がありました。２月生まれの８名中、６名がステージ上で元気に自己表現ができていました。その後、嘉村保育教諭と豊富保育教諭の演出で、節分にちなみ「鬼のパンツ」ならぬ「お似合いのパンツ」選びをして盛り上がりました。

■同日、ばら組さんたちは、川副少年野球の方から「**ふわふわボールをバットで打ってベースまで走る野球教室**」を受け、大いに楽しみました。説明を聞いてすぐにルールを理解し、まさに「元気いっぱい・やる気まんまん・笑顔にこにこ」ではつらつと楽しんでいました。未来の大谷選手が誕生するかも！と期待させるような熱の入ったプレーぶりでした。

■ ２日（金）、博愛っ子たちが楽しみにしていた「**豆まき**」が行われました。３匹も現れた鬼たちの異形（いぎょう）に、最初は怖がっていた子供たちも後半はすっかり慣れて「鬼は外～！」と元気に豆をまいていました。自分の心の中の鬼も退治できたかな？ 怖いもの見たさからか泣きながらも自らハイタッチをしに行く微笑ましい姿も随所に見られました。写真にあるように、それぞれがお手製の「節分グッズ」を身に付けていて、そのお披露目会もありました。日本古来の季節の行事をいろいろな方面から味わっている様子が十分にうかがえました。

先生方の工夫で、いろいろなお面やグッズで楽しんでいました。

最後は鬼さんたちとハイポーズ！

■５日（月）、ばら２組さんとゆり組さんで「**お話会**」がありました。みんな真剣に聞いていました。

■７日（水）、大詫間小学校の**体験入学**がありました。来年度進学予定者は 13 名です。５年生の皆さん、ありがとうございました。よろしくお願いします。

■９日（金）、ばら組さんたちは、**お別れ遠足**で**宇宙科学館**に行ってきました。悩みながらお土産を選んでいる姿、素敵でした。お弁当ありがとうございました。とても良い体験でした。

■15 日（木）、**避難訓練**がありました。佐賀市南部消防署から３名の署員に来ていただき、お話を聞き、消火器の使い方講習も受けました。その後、ばら組さんたちは**幼年消防クラブ員修了証**を受け取りました。

■14 日（水）、**園で採れたホウレンソウ**を茹でておひたしと胡麻和えで食べました。美味しかったです！

■ **英語遊び**にさくら組さんも加わり楽しく活動しています。

ヘラクレスオオカブト、まだまだ元気です！

■15 日（木）、ゆり組さんで**食育教室**がありました。おやつについて学んでいました。

■16 日（金）、**沿道で**第 64 回郡市対抗**県内一周駅伝大会**の６区 12 ㎞（諸富文化体育館 → 東与賀運動公園）の**応援**をしました。

■ 16 日（金）、ばら２組さんは**早津江郵便局**に葉書を投函しに行きました。郵便屋さん活動の延長で家族に葉書を書いたのです。その際、郵便局内の見学もさせてもらっています。自分たちがしている活動の本物バージョンを見ることができ興奮していました。園に帰ってから今まで以上に張り切って郵便屋さん業に精を出していました。ひらがなは正式には小学校の教育課程で学習するものなので、園では積極的に平仮名・片仮名の学習は行いませんが、子供たちの自主的な興味関心に応じ「学びたいときに」タイムリーに教えています。もちろん強制はしないので、興味の湧いた子が探求心から学んでいます。まさに、ばら２組さんの郵便屋さんの取り組みではそんな姿が多く見られました。デジタルの発達した今の時代、葉書でのやり取りはなかなかしないもの。記念品ですね。是非、お子さんに（園宛に）お返事をいただけるとありがたいです。 この後、郵便局の皆様にお礼のお手紙を出すそうですよ。

■ 16 日（金）、「**引渡し訓練**」へのご協力、ありがとうございました。70%（60 家庭）の参加率で大変感謝しています。事前にシミュレーションして臨みました。この訓練を生かしていきます。

■ **学校評価アンケート**のご協力、**ありがとうございました。集計結果と自己評価**をＨＰに上げています。右側の QR コードよりご覧ください。

また、たくさんの**コメント**もいただいていましたので抜粋して紹介いたします。多くの目で見ていただいていることをあらためて感じ、今後も胸を張って教育保育活動ができるよう、職員一同張り切って取り組んでまいります。

・　いつも一人一人に丁寧に子供に接してくださり感謝しています。
・　いつもありがとうございます。個々に合わせた保育をしていただき、子供たちがいきいきと園生活を過ごしている様子をいつも見て感謝しております。
・　他園から転園してきましたが、園、先生方、保護者の方の雰囲気が良いなと日々感じます。毎日先生方が明るく挨拶してくださり、保護者の方も挨拶すると笑顔で返してくださる方が多いと感じています。子供たちも時には行きたくないという日もありますが、基本的には楽しんで登園してくれているので、博愛の里こども園に入園できて本当に良かったなと思っています。園の行事も毎回クオリティが高く、驚き、感動させられます。保育しながら準備や制作等されているようなので、クオリティが落ちてでも先生方には帰宅後や休日は体を休める等、自分の時間を使っていただきたいです。日々の保育活動、子供たちと真剣に向き合ってくださり本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。長文乱筆失礼いたしました。
・　いつも母が休んでいると、ゆっくり一緒にいたいとか、休みたいとか、日頃の愛情不足でしょうか・・・と思い、少し遅刻することも多く、ご迷惑をおかけしています。園へ行くのは以前ほど嫌がらず、楽しかった出来事はお話もしてくれます。これも先生たちが温かく接してくださっているおかげだと感じています。なので、満足です。
・　いつも子供たちと向き合い、素敵な関りをしていただき、ありがとうございます。先生方にかけていただく言葉がいつも励みになります。
・　常に園児のことを考え、頑張ったことや失敗したことなど、お迎えの時に伝えてくださる担任の先生方、本当に素晴らしいです。安心して預けることができています。担任の先生だけではなく、サポートしてくださる級外の先生も本当によくしてくださり、いつも感謝でいっぱいです。これからもよろしくお願いします。
・　毎朝行く気まんまんです！！　家ではいつも同じようなものなので給食は楽しみにしていると思います。給食だけでなく、おやつの献立も教えていただけたら嬉しいです。「教職員は保護者に温かく接している」感謝しています！！

他にも**貴重なご意見**をいただいています。園として真摯に向き合い、反映していきます。また、この博愛の里だよりにも「読みづらい」「回数が多い」というご意見をいただきました。園の方針、お知らせを含め、園での子供たちのいきいきとした活動ぶりなど、“見える化”で少しでも情報発信していけたらという思いが強かったと反省しています。今後は回数を減らして発信していきます。

以下は共通での確認事項となります。**大変ありがとうございました。**

・　休みの連絡が当日にしかできないのが少し不便に感じているのですが、メールでも受け付けてあるのでしょうか。例えば日曜日に熱を出したりして月曜日は休まないといけないとなったときに、日曜日から連絡ができておけると助かるなと思います。12 月末にお葬式で休むと伝えてなくてご迷惑をかけてしまったので、余裕があるときにいつでも連絡できる方法があると…と思いました。我儘な意見で申し訳ありません。**→ 「はいチーズ」にご入力ください。日曜日も確認いたします。**
・　「はいチーズ」、便利だが、お便りが把握しづらい。アイフォンやアンドロイド、機種などで違うのだろうけれど、お便りを見るまでの手順が多く、クラスごとにあったり、前のものをもう一度見たいときに探せなかったりする。
→ 今まではクラスごとに「お知らせ・お願い」をその都度メール配信してきましたが、「園だより」に「クラスから」のコーナーを作り、できるだけそこに記載するようにします。また、メールの題名を工夫し、クラス名を入れ、具体的な表題にします。
・　シール帳がなくなればリュックの意味…、必要性は？　**→ 配付物などの「お知らせ袋」、その他、制作物、汚れた衣服、金曜日のお持ち帰りグッズ等、臨機応変に使わせていただきます。**

※　参考までに、集計結果（１回目との比較グラフ）を除いたダイジェスト版を画像にて載せておきます。詳しくは、裏面 QR コードからご覧ください。

令和5年度2回目の「学校評価保護者アンケート」にご協力いただき、大変ありがとうございました。今回は86世帯中65世帯（73％）の回答となっています。結果を単純比較すると下の表のような結果となりました。わずかな上下はありますが、4点満点のところ、全体的にどの項目も比較的高い評価をいただいていることに感謝いたします。保護者の皆様の園に対する温かいご理解とご支援のたまものと受け止め、大変ありがたく感じているところです。特に、「5．お子さんは楽しんで園に通っている」の項目が若干上昇していることが何より嬉しく感じました。また、高評価していただいている「3．個に応じた保育」「4．個を大切にした保育」は、今後も職員一丸となって自信をもって向上させていきたいと思います。

しかし、（上の段に1回目、下の段に2回目の割合のグラフを載せています。）数字だけでは測れない部分も大きいと感じています。「5．お子さんは楽しんで園に通っている」の中でも「あまりできていない」に付けられている園児がいることに着目し、一層精進していかなければと職員と確認したところでした。分布の割合的に悪化している項目、例えば「7．情報の伝達」「9．園の対応」についても、いただいたご意見を職員と分析し、改善していきたいと思います。（詳しくは「博愛の里だより」に掲載いたします。）

保護者様に関わることに関しては、「11．園からの情報を確認」の項目が伸びていることに感謝いたします。しかし、家庭教育の4項目中4項目ともに降下していることが気がかりです。「13．あいさつ」「15．生活習慣の定着」はこれからの長い人生の基盤となるもの。大人も頑張っていきましょう。そして、「16．ネットのルール」。これからの時代大きな課題となっていく項目です。幼少期の今こそ、家庭で適切なルールを決め、守らせ、ツールとして正しく使える素地を培っておいてください。これからも「14．お子さんとの会話」の豊かな時間を大切にして、素敵な博愛っ子を一緒に育てていきましょう。

1回目

全園

集計	回答				合計	評価
設問	4	3	2	1		
1	57	22	3	0	82	3.7
2	54	24	4	0	82	3.6
3	65	17	0	0	82	3.8
4	64	19	0	0	83	3.8
5	64	17	2	0	83	3.7
6	56	24	3	0	83	3.6
7	62	21	0	0	83	3.7
8	68	15	0	0	83	3.8
9	67	15	1	0	83	3.8
10	53	22	6	1	82	3.5
11	52	25	5	1	83	3.5
12	62	21	0	0	83	3.7
13	50	32	1	0	83	3.6
14	50	31	2	0	83	3.6
15	41	37	5	0	83	3.4
16	30	29	23	1	83	3.1
合計	895	371	55	3	1324	3.6

2回目

全園

集計	回答				合計	評価	「できている」の割合
設問	4	3	2	1			
1	38	26	0	0	64	3.6	100 %
2	40	24	0	0	64	3.6	100 %
3	50	14	0	0	64	3.8	100 %
4	52	12	0	0	64	3.8	100 %
5	52	10	3	0	65	3.8	95 %
6	40	20	5	0	65	3.5	92 %
7	46	16	3	0	65	3.7	95 %
8	53	11	0	0	64	3.8	100 %
9	46	18	0	0	64	3.7	100 %
10	39	22	4	0	65	3.5	94 %
11	39	24	2	0	65	3.6	97 %
12	49	16	0	0	65	3.8	100 %
13	32	32	1	0	65	3.5	98 %
14	35	28	2	0	65	3.5	97 %
15	24	36	4	1	65	3.3	92 %
16	8	37	19	1	65	2.8	69 %
合計	647	349	45	3	1044	3.6	95 %

【 令和5年度 博愛の里こども園　自己評価（成果と課題）】

- 園への評価項目1～9、12において、保護者の評価が全て92％以上だったことから、園は、教育方針を示し、その**方針に沿った教育保育活動を適正に行っている**。また、**教育保育環境を整えている**。
- 評価項目3･4において、1回目2回目ともに保護者の評価が100％だったことから、園は、**園児一人一人を大切にし、発達段階や興味・関心に応じた保育を行っている**。
- 今後も、本園の目指す子供像「**明るく元気な子供（体）**」「**自分で考え、進んでする子供（知）**」「**仲良く、思いやりのある子供（徳）**」の達成に向け、教育･保育要領に示されている5領域（健康･人間関係･環境･言葉･表現）それぞれのねらいを念頭に置き、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が達成できるよう、**遊びは学び**の精神の下、一層「園児の主体性、創造性を重視した活動」「興味関心を引き出す活動」「遊び込み」を行っていく。
- 本園の卒園児たちが、小学校へ進学しても自信をもって学校生活を送れるよう、**幼保小連携を進める**と共に、家庭生活の一層の充実のため**保護者への啓発**を行っていく。
- 次年度に向けての教育保育活動に反映できるように、また、回収率を上げるためにも、保護者が**評価しやすい文言**に変えたり、**教育保育活動に関心を**もってもらえるように工夫したりする。

※「運動場にある倉庫の鍵の位置が低い」というご指摘もありました。子供が中に入っているときに誤って詰め込まれてしまうという可能性が考えられます。倉庫の鍵は、朝、担当の職員が開錠し、お昼に施錠しています。その間は子供たちが自分の遊びに必要な道具を自由に取り出せるように開け放しています。午後からは、使用するクラスの担任が責任をもって開錠・施錠を行っています。施錠するときは中に子供がいないことを確認し行うよう職員間で再確認いたしました。ありがとうございました。（倉庫の中からは開けることができます）